

住宅改修施工計画書

記入例

現在の 家屋の 状況	被保険者氏名	介護 花子	
	家屋所有者	介護 太郎	
	土地所有者	介護 太郎	
	構造	木造	耐火構造（コンクリート等）
	規模	住宅面積	98 m ²
	建築年月	明治 大正 昭和 平成	33年 5月

< 改修箇所の平面図(高さ変更を伴う改修の場合は断面図)もしくは

建築年月が不明な場合は
「築年不詳」と記入してくださ

- ・住宅改修を行う工事箇所、工事内容及び見取り図を記載してください。(改修前後の状態の違いが分かるように記載してください。)
- ・設計図等がある場合は、「別紙参照」として添付し、図面として使用できます。(日常生活導線の確認を含む)
- ・施工が複数箇所ある場合については、それぞれの場所及び施工内容が分かるように記載し、かつ各改修場所間の日常生活導線が確認できる範囲の図面が必要となります。
- ・この施工計画書に1枚で記載しきれない場合(図面を含む)については、別紙として添付してください。
- ・改修場所や内容の表示により明確に確認できる場合は、施工前後の図面を分ける必要はありませんが、既設物の撤去(便器、扉、浴槽等)が含まれる場合は、施工前後は必ず分けて表示してください。
- ・扉等の他の場所との接点の改修の場合は、接している双方の場所の表示が必要となります。

※ 改修箇所は設置物及び設置先の寸法を記載すること